

地域公共交通調査事業の概要

近年、町で運行しているコミュニティバスの利用者数が減少しており、利用者のニーズに合っていないことも考えられ、新たな効果的、効率的で持続可能な移動サービスの構築が必要である。

地域公共交通調査事業は、山辺町の地域公共交通体系の再構築を図る「生活交通ネットワーク計画」を策定するために調査を実施するものである。

【調査事業の内容】

(1) 現状把握調査

地域の公共交通に関する基礎的情報を整理する。

- ① 地域特性の整理
- ② 上位関連計画における公共交通の位置づけの整理
- ③ 公共交通利用不便地域の把握
- ④ 交通事業者へのヒアリング調査の実施

(2) 利用者ニーズの把握

- ① 住民アンケート調査の分析
過年度に実施したアンケート調査結果を活用し、特性分析を行う。
- ② バス利用者実態調査
今年度の利用者実態調査、過年度実施したコミュニティバス利用者実態調査結果の特性分析を行う。
- ③ 駅乗降客数調査
羽前山辺駅を利用している乗降客数調査
- ④ バス懇話会の開催
バスに関する意見の聞き取りを行う。

(3) 課題の整理

町全体および地域別の公共交通に関する問題・課題を整理するとともに、コミュニティバス等の運行の見直しに関する事項を整理する。

(4) 生活交通ネットワーク計画の検討

本町の公共交通の将来像や提供すべきサービス水準等について検討し、公共交通施策の方向性を検討する。

- ① 将来目標と方針の検討
- ② 地域公共交通網とサービス水準の検討
- ③ 地域公共交通確保維持のための取り組み方針
- ④ 需要予測と収支分析
- ⑤ モビリティ・マネジメント（MM）の提案

(5) 生活交通ネットワーク計画案の策定

現状把握調査の結果を踏まえ、既存公共交通事業者とともに、現状の問題点を明確にし、地域公共交通の利用促進、確保・維持のための取り組みについて、生活交通ネットワーク計画案としてとりまとめる。また、再編された公共交通ネットワークによって、実際に運行していくため、収支試算に基づいた詳細な運行計画案を同時に作成し、次年度以降、運行に移行するための体制を整える。